

児童・生徒の力を信じたい

中学生サミット

7月に水元・金町地区で中学校4校の生徒会役員が集まり、青少年委員会企画による会議『サミット4』が開催されました。テーマは「4校一緒に何かに取り組もう」各校6グループに分かれ、30分間話し合い、結論をひとつにまとめプレゼンする、その間一切大人は口出しせず、生徒に任せました。そこまでできるのか、私も心配な気持ちで見守りました。

生徒の力に感動

話し合いを初めて数分、全体をリードする子が現れ、それぞれが自校の様子を話しだし、冗談を言う子、話を補う子、まとめようとする子、模造紙にまとめる子、そして最後はそれまで黙っていた子が、プレゼンターに立候補しました。それぞれのグループでの発表から「4校であいさつ運動週間を実践しよう」との結論を導き出したのには驚かされました。

自主性を育てる

私たち大人は、子どもの力を過小評価する傾向があります。中学生は災害時にマンパワーとして活躍します。小学生も、家族のために役立ちたいと願っています。幼児だって立派にお使いができます。

しかし大人は、未熟だから、不安だからとすぐに口を出し、手を貸し、「早く」とせかし、育ちかけた自主性の芽を摘んでしまっていないでしょうか。任せたら、最後まで任せる

子どもたちは、大人が考える以上にいろいろなことを考え、やれる力を持っています。しかし、その前に「こうしなさい」「こうした方がいい」と指示されたのでは、自分で考えることをやめてしまい、大人を頼るようになります。学校の授業でも、教師の話を聞くだけでは考える子は育たないと、自分で考え、それを自分の言葉で言える子どもを育てようとしています。場に立たせ、任せてやらせ、できたことを認めることで自信となり、成長につながると考えるからです。

教育長 塩澤雄一



グループで真剣に話し合う

教育委員会のうごき

5月から9月までの間に、15件の議案と48件の報告事項等が審議され、すべて可決・了承されました。主な案件は以下のとおりです。

- は議案、○は報告事項です。
- 教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況の点検・評価
- 平成26年度使用義務教育諸学校用教科用図書採択について
- 葛飾区総合スポーツセンター等の指定管理者の指定に関する意見聴取

- 平成25年度教育推進モデル校、教育指定校等について
- 葛飾区教育振興ビジョン（第2次）の取組について
- 葛飾区生涯学習振興ビジョンの取組について
- 平成25年度「確かな学力の定着度調査」の実施結果について

○平成24年度文化・スポーツ活動助成実施について

○平成24年度葛飾区立日光林間学園実績報告について

○かつしか進路フェア2013の実施結果について

○葛飾区郷土と天文の博物館常設展示のリニューアルについて

○平成26年度学校選択制の実施について

○葛飾区教育振興基本計画（素案）について

○葛飾区奨学資金奨学生募集について

○特別支援教室の設置について

○夏季休業中における学習教室の活動状況について

詳しくは葛飾区ホームページ <http://www.city.katsushika.lg.jp> をご覧ください。

（会議録もごらんいただけます。）

庶務課 ☎(5654)8449

新教育委員の就任について

佐藤 昭委員の任期満了にともない、10月2日付で、塚本 亨委員が教育委員に就任しました。

庶務課 ☎(5654)8449



この広報誌は、印刷用の紙にリサイクルできます。

編集 葛飾区教育委員会事務局 庶務課 ☎(5654)8449